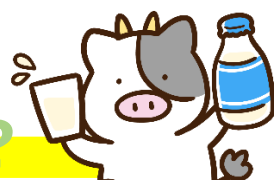


ことばの ポケット

主語と動詞の会話を!

動詞を使おう!

子どもに話しかける際に、主語と動詞を使うことで、語彙数が増えるのはもちろんのこと、文章表現力や理解力が大きく変わってきます。4歳以降には、子どもが話す言葉や話し方にも影響があると言われてています。



「はい、牛乳!」って…何だろう?

「はい、牛乳」と普段言っていないませんか。のどが渴いたから牛乳を飲もうか? 冷蔵庫から牛乳を出すね。牛乳を〇〇ちゃんのコップに入れたよ! などその意味は様々考えられます。主語(名詞)をどうしたいか、どうするのか、述語(動詞)の役割は、コミュニケーション力にも大きく関わります。

名詞+動詞に 言い換えよう!



- 「靴下!」 → 「靴下を履こうね」
- 「帽子!」 → 「帽子をかぶろうね」
- 「ご飯よ」 → 「ご飯を食べようね」「お皿を並べてね」
- 「お風呂!」 → 「お風呂に入ろう」「湯船に浸かろう」

合わせて使おう! 助数詞のすすめ!

日本語の助数詞は、約500種類もあります。子どもの生活に関わる助数詞は積極的に使っていきましょう。

使い分けの目安



- 「個」… 個体など
- 「本」… 細長い物など
- 「枚」… 平たく薄い物など
- 「匹」… 人間より小さい生き物など
- 「頭」… 人間より大きい生き物など